

先月、南米最高峰にアタック

日本山岳会岐阜支部に所属する白木貞次さん(79)＝神戸町末守＝が1月、南米大陸最高峰、アルゼンチンのアコンカグア(6962m)の登頂に挑戦した。惜しくも頂上を目前にした6700m地点で引き返す結果となったが、山への挑戦心は衰えることなく、「これからも山登りを楽しんでいきたい」と80代の目標を語る。

(瀬戸賞言)

「80代はマイペースで」

西方見聞録

白木さんは、小学2年の時、810mの単独登頂にも成戦火の激しい東京から、父の古里だった岐阜県に疎開。登アコンカグアの登頂を目指功した。

た。

白木さんらは、同19日から欧米の若手登山者や現地ガイドらと隊を組み、計9人で登り始めた。6千m地点にたどり着いた後、白木さんと欧米人、ガイドの5人が頂上を目指した。しかし、高齢の白木さんを心配したガイドが何度も下山を勧め、6700mのところまで登頂を断念。白木さんは「体調は良く気力も十分あったが、言葉が通じなかったので仕方なく諦めた」と悔しさをにじませる。

今年、80歳を迎える。再挑戦に強いこだわりはなく「これからは、一人でのんびり登れる山を楽しみたい」とほほ笑む。

79歳、登山熱衰えず

神戸町の白木さん



南米大陸最高峰アコンカグアの登山証明書を手に笑顔を見せる白木貞次さん＝神戸町末守、白木さん宅